

# 天白区関連予算

天白区に関する事業と予算につきまして  
ご報告いたします。



## 01 名古屋東部地区新設特別支援学校建設費

令和7(2025)年度当初  
800,791千円(外に債務負担行為 4,286,653千円)

この地域に住む肢体不自由な子どもたちは、港特別支援学校まで長時間通学を行っています。これを解消するため、2027年4月(予定)、天白学校体育センター敷地内に特別支援学校が開校します!

- 校舎  
・鉄骨造3階建1棟  
・24学級  
・給食施設、水泳訓練室あり

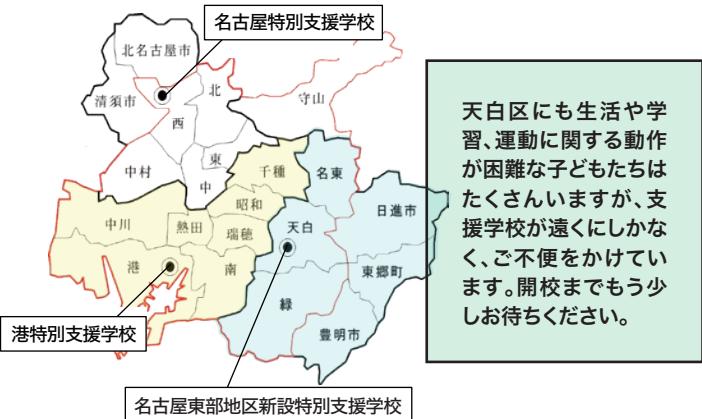
- 建設期間と工程  
2023年より基本設計・整備調査、実施設計が行われ、2025年からは建設工事が始まっています。

### ■事業費予算総額 60億円

内訳

- ・校舎新築工事
- ・実施設計(環境整備)
- ・体育館等改修工事
- ・環境整備関連工事

年度	2023	2024	2025	2026	2027
事業内容	基本設計 整備調査	実施設計	建設工事	建設工事 環境整備 工事	開校
事業費(億円)	1.0	1.9	8.0	49.1	計 60.0



天白区にも生活や学習、運動に関する動作が困難な子どもたちはたくさんいますが、支援学校が遠くにしかなく、ご不便をかけています。開校までもう少しお待ちください。

令和7(2025)年度当初  
190,000千円

## 02 中小河川改良費 (天白川)

平成12(2000)年の東海豪雨を憶えている方は多いことでしょう。近年さらに豪雨災害が頻繁に起こっています。天白川と共に生きる私たちにとって河道整備はとても重要です。



天白川流域の約7割を占める名古屋市は、昭和20年代以降に市街化が進み、現在、排水路や下水道の容量が足りず、道路や家が浸水する「内水被害」が心配されています。

天白川流域は、下流域のほとんどがポンプ排水域であり、たびたび浸水被害を受けてきました。

平成23(2011)年より天白川水系河川整備計画に基づき「河道整備」が行われてきました。河道整備とは、川の流れを安全に、効率よく流すため河道(川の通り道)を改良・整備することです。

■今年度は新島田橋の下流約0.3kmで河道整備が実施されます。

## 03 普通県営住宅建設費(平針住宅)

令和7(2025)年度当初  
375,726千円



平針住宅は、1960年代に建設された大規模団地です。老朽化が進み、2017年度から建替事業が開始されました。2020年度から左図赤枠内の9街区の4棟219戸のPFI方式整備事業(建替え)が実施されました。そして9-C,D,E棟の完成に続き2025年度5月に9-F棟の建設工事が完了しました。

- 愛知県営平針住宅PFI方式  
整備事業(2020年度～)  
場所/名古屋市天白区平針南三丁目地内  
整備概要/4棟219戸の建設、および既存住棟12棟268戸除却、附帯施設等の整備。(総戸数:建替前1,095戸→建替後1,046戸)  
契約金額/3,616,388,600円



PFI方式整備とは公共施設整備に民間資金や経営能力、技術的能力を活用する手法。公共事業の効率化、コスト削減、品質向上が目的です。

